



未来への一步

~Let's create the future together~

第063号

発行：兵庫県立播磨特別支援学校

はりゴン

〒679-4002 たつの市揖西町中垣内乙135番地1
 TEL (0791) 66-0091 URL <http://www.hyogo-c.ed.jp/~harima-sn/>
 FAX (0791) 66-0092 E-mail harima-sn@hyogo-c.ed.jp

2年校外学習 羅漢の里へ

6月23日(木)に、相生市にある「羅漢の里」で校外学習を行いました。

天気予報では荒天が予想されていましたが、当日は青空も見え、絶好の校外学習日和となりました。午前中には各班で火起こしを体験した後、牛乳パックを使ってお湯を沸かし、非常食であるアルファ化米の試食を行い、非常時の食事の作り方についての学習をしました。

昼食のあとは、事前に希望をしていた各レクリエーションの班に分かれて、活動を行いました。川での水遊びや、アスレチック、バレーボールやバドミントンをそれぞれが楽しみ、就業技術科、普通科・職業科の枠組みを超えた2年生としての絆が深まりました。

羅漢の里からの帰路では、地域でいちご農園を運営している「雅ファーム」様にて、ジェラートの試食を行いました。地元の食材を使ったジェラートのおいしさに、生徒たちは舌鼓を打ちました。



1年就業技術科職場見学

6月21日(火)と28日(火)、たつの市内にある2つの企業様【新宮三相電機株式会社と生活協同組合コープこうべ協同購入センター西播磨】にご協力いただき、1年就業技術科生徒が職場見学に行きました。

どちらの企業も仕事の内容について、わかりやすく丁寧に説明してくださり、生徒たちもメモを取りながら熱心に聞いていました。新宮三相電機株式会社では、本校の卒業生が勤務しており、「働く上で大切なことは？」など、生徒たちの質問に答えてくれました。中でも「いろいろなことに挑戦してほしい」というメッセージが生徒たちに響いたようでした。生活協同組合コープこうべ協同購入センター西播磨では、センター長様から「仕事をする上では大きな声で話すことが大切。相手に伝わらなければ意味がない」というお話を聞き、「声の大きさが課題なので頑張りたい」と生徒たちの意欲につながりました。

職業自立を目指す生徒たちにとって、就労に対する意欲や意識を高める良い機会となりました。



性教育講演会

7月1日(金)に、みさ助産院の助産師、前田美佐代様を講師にお招きし、1・2年生を対象に性教育講演会を実施しました。「思春期支援教室～知っておきたい 命の話」という題目で生命の誕生から男女の付き合い方など、わかりやすく講演してくださいました。

人形の赤ちゃん抱っこ体験や、妊婦体験など疑似体験を行うことができ、参加した生徒は貴重な経験をすることができました。重さ6kgの妊婦体験エプロンを装着し、10ヶ月間子宮の中で赤ちゃんを育てる「お母さん」の大変さを感じることができました。また、「マタニティマーク」の存在を初めて知った生徒も多く、マークを見かけたら自分でもできることを考えて行動したいという生徒もいました。

これからの自分と、家族との関わりについて考えるよい機会となりました。



夏祭り 寄宿舍

7月3日(日)に夏祭りを行いました。新型コロナウイルス感染症が少し落ち着いてきていた時期ではありましたが、感染対策を講じながら久しぶりに飲食がある模擬店をすることができました。

舎生の家族の方にも参加してもらい、PTAの模擬店も復活しました。どの舎生も、飲食がある夏祭りは初めてだったので、アイスを片手に各棟の模擬店を回って楽しんでいました。

模擬店終了後、南グラウンドで花火大会も行いました。天気が心配でしたが、播磨の夜空にきれいな花火が打ち上がりました。

寄宿舍役員を中心に、アイデアを出し合い協力して準備を進めていくことで、主体的に活動する力が生まれ、達成感を共有できよい経験となりました。



職員心肺蘇生法講習会

6月14日(火)に西はりま消防組合たつの消防署の救急隊員の皆様を講師にお迎えし、職員心肺蘇生法(AEDを含む)講習会を実施しました。

新型コロナウイルス感染症対策に配慮しての手順を確認した後、各グループに分かれ実技を通して学びました。

緊急時に落ち着いて対応できるよう、全職員が真剣に取り組みました。

